

ここまでハイレベルな争いで展開する今場も残り四日となり、八日目以降の終盤戦も全勝の桐壺部屋が先頭に優勝争いが続きそうだが、連覇を狙う一敗の麻繩に2敗の錦風、勝間田、磯ノ海の5名が桐壺の牙城に風穴を開ける事が出来るのか？それとも磐石の体勢の桐壺勢が立ちほだかるのか？

益々土俵上から目が離せない期待高まる次開催は、運菅陣にはハードスケジュールだが桜満開の8日後の3月31日に予定されている。全国の紙相撲フアンの皆様ようご期待！
(香具山)

一敗で剣竜と若巨

七日目を終えて、優勝争いは1敗で剣竜と若巨の2人がトップに立ち、これを2敗の照の王、大樽、龍不動、太刀鳳、若柱、喜乃郷、若佑の7人が追う展開となった。

五日目にして早くも全勝力士が消えたが、剣竜が初日に敗れたものの二日目から6連勝の若巨は三日目から5連勝と星を伸ばして優勝争いの先頭に立った。剣竜は先場所に新入幕目前の立場で負け越したが、今場所は足腰が安定して行ければ一まの調子で行ければ一気に入幕が現実のものとなりそうなの勢いだ。

一方、若巨は先場所に新十両で8勝3敗と優勝争いを演じた霧ヶ浜部屋のホープ。今場所大勝ちするようないくつかあると2場所での十両通過も夢ではない。霧ヶ浜部屋は若柱、若佑も2敗と関取全員が好成績。千秋楽には北海道から親方が駆けつける予定で、「ぜひ親方！いい相撲を見せたんでい！」と3人とも意気



桃乃洲●(寄り切り)○若巨



剣竜○(寄り切り)●照の王

「元大関が十両で相撲を取るの如何なものか。」という声があがっている。照の王だが、一場所での幕内復帰を目指した今場所、ここまで5勝2敗と復活の相撲をみせている。場所前は錦風部屋に出場古に行き、盟友の横綱若乃嶋と青木道場以来という猛稽古を連日に亘って重ねた成果が表れている。

「弟分の嶋公相手に、プロの道に入つて初めてというくらいに稽古をしたぜ。嶋公とか稽古で『なんだ、横綱といつてもこんなものか。俺もまだまだやれる』と力が湧き出て来た感じだぜ。何とか好成績を上げて、来場所は再び幕に戻るつもりで残り4日間全力で頑張るぜ！」と七日目の取り組み話をしてくれた。

また、四国の星、龍不動が5勝2敗と優勝争いを演じている。「目標は三役！」と志は高い。播磨屋親方が地道にスカウト活動を行なってきた、やっと思つた期待の逸材がどこかで番付を上げて行くのか、親方はもちろんのこと多くの紙相撲ファンも楽しみにしている。
(錦風)



伊達富●(寄り切り)○龍不動



照の王○(寄り切り)●磯燕

幕下は春日根勢優勢

三日目を終えて3連勝としたのは麒麟王、西磯野、西安、鉄ノ里の4人。四日目は麒麟王と西磯野、西安と鉄ノ里の対戦が予想される。西磯野と西安がともに勝つようなことがあると、千秋楽の割り難くなりそう。

今、幕下で一番勢いのある春日根部屋の2人が優勝争いというのには当然かもしれない。勢ノ里も2勝1敗として新十両を目前にしており、3人も順調に星を伸ばしている。春日根親方は「まだまだ！」と謙遜しているが、いずれ3人も十両に上がって行くことは間違いないだろう。



鉄ノ里○(叩き込み)●福添

と黒雲海が2勝1敗、連勝と4人が残り2日間に目指しての争いを演じることになる。
(錦風)



菊地原●(寄り切り)○西安



桑ノ城●(寄り切り)○西磯野



英乃濱●(押し倒し)○麒麟王

三段目、序の口

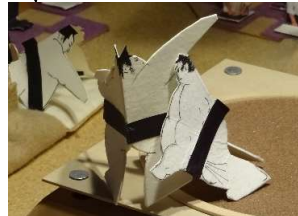
三日目を終え、三段目の3勝は柏陵山、西神門、鶴ノ里、繁元の4人。なかでも注目度は播磨屋部屋の鶴ノ里だ。部屋頭の龍不動が十両に昇進し、これに続けとばかりに好調さをアピールしている。あと2日、ますます難敵が立ちほだかるだろうが、健闘を期待したい。

序二段は三国、松島、山、王が3勝。部屋頭の夢力がまさかの全敗。若手も伸び悩むなかで三国の活躍は一筋の光明だ。久しぶりの登場の大松戸部屋、荒笠部屋から序二段付出しに抜擢された松山と王がともに3勝と親方を喜ばせている。力士発掘に力を入れている。立派の両力士の活躍は、大松戸対荒笠の親子対決になるだろうが、楽しみな一番だ。

序の口は実力部屋新混沌模様だが、その中で抜け出したのが逆川勝錦、柴橋だ。またテレビ取材が縁で参戦した、ピエール瀧さんのメカ富士山と武井壮さんの獣王との対戦は大いに注目された。弟子は面白かった。白軍配は弟分の獣王が上だった。
(鹿)



獣王○(寄り切り)●メカ富



三上●(寄り切り)○王



虎前田●(寄り切り)○松山



鶴ノ里○(寄り切り)●鹿牛田